

進路だより

平成28年7月19日
大阪府立守口支援学校
進路指導部 発行第1号

同窓会

5月8日(日)に第20回同窓会定例総会が体育館で行われました。年々卒業生の輪が広がっていく中、平成7年度卒業の方をはじめ同窓生は87名、保護者、教員を加え120名以上の人々が集まりました。総会では昨年度の卒業生の紹介がありました。紹介ビデオなどもあり、みなさん暖かい拍手で同窓会に迎えられました。

総会終了後はおなじみのレクリエーションがありました。ジュースやお茶を飲んだりお菓子を食ったりしながらおしゃべりを楽しむ人、得意のカラオケを熱唱する人、ビッグバルーンで白熱したゲームを繰り広げる人など、楽しい時間はあっという間に過ぎました。最後に全員で記念写真を撮影し、再会を約束しての解散となりました。

次の同窓会は11月6日(日)に実施を予定しています。



高3福祉懇談会

5月31日(火)に高3福祉懇談会を開催しました。高3保護者の方と地域関係機関(大阪府障がい者自立相談支援センター、守口市障害福祉課、守口市障害者基幹相談支援センターなど)が顔を合わせ、来春卒業後の進路実現に向け、情報交換を行いました。



〈午前:保護者との懇談会〉

一昨年度より、障がい福祉サービス利用にあたっては事前に利用計画案、いわゆる「計画相談支援」が必要になっています。今年は守口市内の相談支援事業所(10軒)に出席頂きました。卒業後にB型福祉事業所への進路を想定される場合は、夏季休業中などに「就労アセスメント」が必要になり、それに伴って、計画相談事業所の選定期間を前倒しさせていただき、福祉懇談会では担当の相談員さんと初顔合わせという形で行いました。多忙な業務を抱えて

おられる中、午後の学校担当者との情報交換会まで快く時間を割いて頂き、大変有り難いことであると感謝しております。生徒によっては、すでに現時点で障がい児福祉

サービス(放課後等デイサービス等)利用で計画相談担当者と繋がっており、今後の進路の方向性についてもアドバイスを頂いているケースも出てきています。今後は在学中、早い段階からの相談支援担当者との連携がより大切になってくると実感しております。このような新しい取り組みが個々の生徒のよりよい社会参加に結びつくように、更に地域連携に力を入れていきたいと考えています。



校内実習 お疲れ様!!

高等部は6月6日(月)から2週間、木工・窯業・紙工・縫製・S4の5種目に分かれて校内実習を行いました。木工班はミニ道具箱、鍋敷き、キューブ型ベンチの製作やパソコンラックのワックスがけなど。窯業班は大皿、小皿、木の葉皿、ペーパーウェイトを作りました。紙工班は和紙シール、はがき、一筆箋、メモ帳など。縫製班はスウェーデン刺繍のコースターと小物入れ、ドレスタオル、ブックカバー、台ふきん、ビニール袋ストッカー、シュシュと、みんなで分担し、協力して製品作りを行いました。S4班は2週間かけて、ピタゴラ装置を作成しました。

校内実習の最終日は即売会、どのお店にも一生懸命作られた製品がずらりと並びました。S4の生徒達の取り組みの様子はテレビで映され、2週間の頑張りを観ていただくことができました。そして午前11時、鐘の合図とともに即売開始!たくさんの保護者の方々がお越し下さって完売するお店もあり、大賑わいの即売会となりました。

午後の反省会では各種目ごとにジュースでお疲れ様の乾杯!!一人ひとりが自分の目標に向かって頑張った充実した2週間となりました。

保護者の皆様、即売会ではたくさんの製品のお買い上げありがとうございました。



中学部3年生生活学習

「寝屋川支援学校高等部見学」

6月10日(金)に、中学部3年生生活学習で寝屋川支援学校高等部の授業見学へ行ってきました。校舎や運動場の敷地の広さが、守口支援学校とはずいぶん違う印象でした。高等部の体育、園芸(小学部と一緒に苗植え)、音楽(校歌)、美術(オリジナルフラワー制作)、作業(クロスステッチ、木製の時計制作、窯業のはんこ制作)の授業見学をしました。音楽では、校歌の発表をしてくれました。授業に取り組む先輩の姿を見て、刺激を受けた生徒もたくさんいました。

「作業所見学」

7月1日(金)中学部3年生生活学習で、門真市にある「グレース工房」「ジェイ・エス ステージ」へ作業所見学に行ってきました。

「グレース工房」では、唐辛子の計量、袋詰めした唐辛子を台紙に貼る作業、箱作りや、梱包の作業などを体験しました。真剣に説明を聞き、集中して作業を体験しました。作業を体験した生徒たちはとても緊張していましたが、施設の方に「初めてなのによくできますね。」と褒めていただき、自信が持てたようでした。先輩の働いている姿を見て、「高等部を卒業してどうするのか」「仕事をどうするのか」考える良い機会になりました。

「ジェイ・エス ステージ」では、施設内の様子を見学しました。48名の先輩が活動しており、それぞれにあった作業に取り組み、過ごしていると説明してくれました。多目的室では、和室やキッチンもありクッキング活動があると聞いて、生徒たちは興味深く見学していました。作業場ではバリ取りの作業を見学し体験しました。机の前に並んで、実際にバリ取りの作業を体験する場面では、集中して作業に取り組むことができました。また、ミュージックケアを利用者の方と一緒にいき、緊張が解けて笑顔も多く見られました。

半日の短い体験でしたが、高等部卒業後の進路のイメージが少し湧いたと思います。



PTA施設見学会

6月から7月にかけて守口・門真市の福祉の事業所を中心に見学会を実施しました。今年も、校区内の施設にも新しい動きがありましたので、新規事業所への見学も実施しました。中には希望者が20人を超えるところもあり、別日での日程調整を行いました。保護者の方々の関心と期待の高まりを感じました。

梅雨の季節ということもあり、雨が強い日もありましたが、たくさんの保護者の方々が参加されました。

見学会の多くは①まず事業所の概要を説明していただき②ひと通り見学し③質問の時間を設けていただく…という流れです。

今年の見学会の中で、新規立ち上げや新規移転された事業所は守口市の『桜の園』、『地域生活総合支援センターいま』です。

『桜の園』さんは、平成22年から活動されていて、今回近隣への移転・新築され

ました。生活介護・B型・放課後等デイなどの多機能型事業所として再スタートされました。保護者の感想では、「新築間もない建物はとてもきれいで清潔でした。木造の外観も素敵で、花と緑も多くとても和む風景でした。」など多くありました。

地域生活総合支援センターいまさんは、平成28年4月に開所され、生活介護・グループホーム・放課後等デイ・短期入所(来年度予定)などの多機能型の事業所です。新築で広いスペースの中で、利用者さんがのびのびと活動されていました。

門真市の『仲間の家たけのこ』では、就労継続支援B型ということで、生産活動が主な活動ですが、利用者さんが描いた絵をハンカチなどのオリジナル商品として、大阪市内などに積極的に出向いて販売活動をされています。また一方で、一人ひとりへの生活面での支援も丁寧にするよう心掛けていると仰っていました。

また、『グレース工房』では、新たに守口市の西三荘近辺に新規事業所を開設予定というお話もありました。

見学会は毎年春と秋に実施しています。実際に事業所を訪れることで、立地環境やその場の雰囲気を感じる良い機会になると考えています。

次回の秋の見学会には保護者からの希望をもとに見学会を実施する予定です。

～見学の感想～

- ・息子はまだ小学部1年生なので、まだまだ就労については先になりますが、就労継続支援B型という事業所を知りたくて参加させて頂きました。事業所では、利用者さん一人ひとりに対しての支援を心掛けていることが、スタッフさんの対応を通じ感じました。
- ・『青い鳥工房』『たけのこ』のどちらの施設も利用者それぞれの個性や能力を活かした作業・活動等サービスを提供されていて良かったと思います。



もりもりギフト

ご協力ありがとうございました。活動での収益は、利用者の工賃とボーナスに還元されます。冬にも販売があります。よろしくお祈りします。

◆高等部進路担当の変更について◆

6月20日より高等部進路担当が上田先生から山下先生に変わりましたので、お知らせします。